



# 月根尾

「月根尾」とは、学校のある地域の古名  
「突根尾原」に由来する地名です

## 野球部

7/12-25

### 第106回全国高等学校野球選手権島根大会

- 【2回戦】飯南 12-0 江津・浜田水産 (5回コ)
- 【3回戦】飯南 5-2 大田
- 【準々決勝】飯南 7-4 立正大松南
- 【準決勝】飯南 7-9 石見智翠館



全国高校野球選手権島根大会



粘り強い野球で  
堂々のベスト4!



# 月根尾

「月根尾」とは、学校のある地域の古名  
「突根尾原」に由来する地名です

## 生命地域ラボ

### 神楽愛好会「第13回高校生の神楽甲子園」

7/21



演目【土蜘蛛】

2年連続

「日藝選奨」受賞の快挙!!



第13回 高校生の神楽甲子園  
ひろしま安芸高田

- 大太鼓: 中原颯士
- 小太鼓: 五所尾航大
- 手打鉦: 中山拓巳
- 手打鉦: 難波ちひろ
- 笛: 影山寧音
- 源頼光: 荻野雷柊
- 卜部季武: 前島柚花
- 坂田金時: 田部紬稀
- 胡蝶: 影山莉音
- 土蜘蛛: 影山翔音



島根県立飯南高等学校  
土蜘蛛

# 野球部

部長 迫田来飛 さん



「大会を振り返ると苦しい場面が多かったですが、飯南高校野球部の特徴でもある粘り強い野球をすることができました。しかし、目標としていた甲子園には届かず、ベスト4という悔しい結果に終わりました。それでも、最後まで諦めず楽しく野球をすることができたのは、球場まで足を運んで応援して下さった地域の皆さんや先生方、生徒の皆さんの声援の力があつたからです。ありがとうございました。」と部長の迫田来飛さん。「応援されるチームに」という思いで高校での部活動を続けてきたという迫田さんは、試合後「いい試合だった！感動した」とたくさんの方に声をかけてもらったことや、応援看板や手作り応援旗での激励も、「当たり前にしてもらえることではないから、とても嬉しかった」と話していました。

2年前の県大会決勝戦後、来田監督は「1・2年生には決勝まで戦った経験を生かしてほしい」と話しておられました。1年生の時に決勝という大舞台での打席を経験した迫田さんは、「その後の試合では打席で緊張しなくなった」と言い、2年前の経験が今大会の結果にも表れていました。前の打者が塁に出て迎えた打席では、「絶対にランナーを帰すぞ！」という気持ちで打ったことが2試合連続の同点ホームランに繋がり、同点になっても「ここからだ！」と気持ちを緩めず、攻守共にさらに強い気持ちで向かえたそうです。

来田監督から「先輩の役割はできるだけ上まで勝ち上がり、後輩に高い壁を作ることだ」と言われ、甲子園を目指してやってきた3年生。準決勝敗退で、やはり「悔しい」という気持ちが強かったと話していましたが、「後輩には甲子園出場の夢を叶えてほしい」と希望を託していました。



頭をよぎりました。それなら楽しんでやろうというメンタルで挑みました。今思えば、それが全国大会に繋がったのだと思います。

最後になりますが、今まで支えてくださった保護者、地域の方、生徒・先生の皆さん、そして取材に協力して下さった方々、ありがとうございました。

全国大会  
出場

7/22-25

# 報道部

## 第71回NHK杯全国放送コンテスト

【アナウンス部門】 準々決勝出場

山中 麻菜美 「挑戦することは楽しいこと」

私は今大会、全国の舞台に立つことができるとは思っていませんでした。6月の高校生活最後の県大会では、今までで一番良いものを作ろうと思い、アナウンス原稿を作成する段階に多くの時間を費やし、伝えたいものを入れた、自分が納得できるものを作りました。いくら自分が過去一番気合を入れた原稿を持っていても、県大会では緊張しました。これが最後の読みになるかもしれないという考えが

# 9月の主な行事予定

- 8月29日(木) 鵬雲祭①(文化祭)
- 30日(金) 鵬雲祭②(文化祭) 午前のみ
- 31日(土) 出校日 鵬雲祭③(体育祭)  
※雨天順延
- 9月 2日(月) 振替休業日(8/31)  
※体育祭予備日(雨天時)
- 5日(木) SC来校(午後:菅先生)

- 11日(水) 放課後家庭学習日  
SC来校(午後:高橋先生)
- 12日(木) 1年生中山間地域体験学習(～13日)
- 19日(木) 試験発表  
SC来校(午前:菅先生)
- 20日(金) 生徒会役員選挙
- 25日(水) SC来校(午後:高橋先生)
- 26日(木) 中間試験(～10/1)

# 生命地域ラボ

神楽愛好会 会長 影山翔音 さん



私たち生命地域ラボ神楽愛好会は、1年生2名、3年生7名の9名と中学生1名の合計10名で活動しています。昨年の10月より高校生の神楽甲子園出場に向け「日藝選奨連覇」を目標に掲げ、飯南神楽団のご指導の下、約10ヶ月間練習に励んできました。

私たち、生命地域ラボ神楽愛好会は令和元年に生徒の「神楽甲子園に出場したい」という強い思いから結成されました。現在も先輩方からの思いを受け継ぎ、より良い神楽が舞えるよう日々の練習に励んでいます。

昨年出場した第12回高校生の神楽甲子園では、私たち飯南高校神楽愛好会にとって悲願の日藝選奨を受賞し、飯南高校、また飯南町を神楽の力で盛り上げることができました。今年は、神楽にかける思いが

今回の神楽甲子園では、中高連携校である赤来中学校の影山寧音さんに笛で出演していただきました。唯一の中学生ながら、出だしの笛の音色で観客を魅了し、高校生の奏楽・演舞の一体的な神楽に繋がってもらいました。

とても強い生徒がたくさん集まったチームでした。神楽甲子園で「日藝選奨連覇」を目標に掲げたからには、中途半端な神楽を舞うことは絶対にできないという強い意思のもと大会に挑みました。結果は、目標にしていた「日藝選奨連覇」を果たすことができました。大会当日は、生徒一人一人が練習の成果を出し切り、神楽ドームという憧れの舞台を全力で楽しむことができました。演舞が終わったあとの、メンバーみんなの弾ける笑顔がとても印象的でした。

最後になりましたが、私たちの活動に協力して下さった飯南神楽団、神楽愛好会 OB の皆様、送迎など日々サポートをして下さった保護者の皆様、そして、応援して下さった学校関係者、地域の皆様、本当にありがとうございました。

神楽甲子園出場にあたり、JALまね雲南地区本部様、JA共済連島根様から神楽伝承活動支援金を、鵬雲会(卒業生会)様から激励金を贈呈していただきました。ありがとうございました！

# 書道同好会

## 高文連書道コンクール

- 景山 英 **特選**
- 黒田 蒼子 **佳作**
- 岡野 董 **佳作**



8月29日(木)の鵬雲祭では、神楽甲子園で舞った『土蜘蛛』を披露します。13時45分から上演予定ですので、地域の方もぜひお越しください！

# 鵬雲祭

## ハイライト 最高傑作 ～永遠のHighlightに～

8/29  
(木)

- 書道パフォーマンス
- ミュージックコンテスト
- クラスパビリオン
- PTA模擬店
- 神楽愛好会【土蜘蛛】披露

8/30  
(金)

- 報道部アナウンス・上映
- 生命地域学(3-2)発表
- 吹奏楽部中高合同演奏会
- クラスパビリオン
- 家庭クラブバザー

8/31  
(土)

- 入場行進
- 競技(午前の部)
- 応援合戦
- 競技(午後の部)